

## 令和元年度 事業報告（概要）

### “日本一地域福祉課題が少ないまちを目指します”

本市においては、高齢化や過疎化による地域機能の低下、心身の障がいやひきこもり・虐待など、多様な要因から生じる社会的孤立や経済的困窮が深刻化しています。そのような中で「日本一地域福祉課題が少ないまち」を目指し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう様々な困りごとの解決に向けて地域住民とともに取り組んで参りました。

まず、法人運営部門においては、適切な法人運営を行うため、理事会、評議員会、社協理事内部研修会を随時に、監査を定期的実施し、各事業の進捗状況・重点事業の内容説明や諸規定の変更等を行いました。また、働き方改革の一環として、臨時職員の通勤手当、再雇用嘱託職員の給与の見直しを行いました。

地域福祉事業においては、様々な地域の困りごとの解決に向けて地域住民や関係団体とともに課題を共有し、問題解決に取り組む「地域づくり大作戦」事業を展開することで、新たなグループ活動を開始することができました。また、市民の災害や防災に対する意識の高まりを実感するなか、災害に備え「災害ボランティアネットワーク協議会」を開催し、行政、関係団体等の連携にも努めました。

在宅福祉部門においては、高齢化に伴う職員確保が難しくなっているなか、事業の継続と効率的な運営を目指して、訪問介護事業所の統廃合を行いました。また、地域包括支援センターの受託に関しては最優先課題として検討を重ねました。

施設福祉部門の佐伯市特別養護老人ホーム「豊寿苑」においては、入苑者の皆さんの生活の質の向上に努め、各種研修に参加して、職員のスキルアップと介護技術の向上を図りました。また、施設の運営にあたっては、家族や地域住民、ボランティアにも呼びかけ、開かれた施設運営に努めました。

しかしながら、突然発生した新型コロナウイルスの対応には会議・イベントの中止、延期の対応を講じる状況も生じました。

以下、令和元年度の具体的な各種事業の取り組みについて報告します。

## <総務課>

### 1. 理事会・評議員会等の開催

#### (1) 理事会

会議名	期日	主な議題
第1回理事会	5月31日	平成30年度事業報告について 平成30年度収支決算について 令和元年度第1号収支補正予算(案)について 指定管理者の募集について 新役員(案)の提案について 評議員選任・解任委員欠員者の選任について 評議員の推薦について 第1回評議員選任・解任委員会の開催について 第1回評議員会の開催について
第2回理事会	6月19日	会長・副会長・常務理事の選任について
第3回理事会	10月9日	令和元年度第2号収支補正予算(案)について 経理規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 欠員役員(案)の提案について 評議員の選任について 第2回評議員選任・解任委員会の開催について 第2回評議員会の開催について
第4回理事会	2月25日	令和元年度第3号収支補正予算(案)について 令和2年度事業計画(案)について 令和2年度当初収支予算(案)について 評議員の辞任による後任候補者の推薦について 第3回評議員選任・解任委員会の開催について 第3回評議員会の開催について

#### (2) 評議員会

会議名	期日	主な議題
第1回評議員会	6月19日	平成30年度事業報告について 平成30年度収支決算について 令和元年度第1号収支補正予算(案)について 新役員(理事及び監事)(案)について
第2回評議員会	10月16日	令和元年度第2号収支補正予算(案)について 経理規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 空席となっている役員の選任(案)の承認について

第3回評議員会	3月6日	令和元年度第3号収支補正予算(案)について 令和2年度事業計画(案)について 令和2年度当初収支予算(案)について
---------	------	---

### (3) 評議員選任解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会	6月3日	評議員の選任について
第2回評議員選任・解任委員会	10月10日	評議員の選任について
第3回評議員選任・解任委員会	2月26日	評議員の選任について

### (4) 監事による監査

監査名	期日	検査の範囲
内部監査	5月20日	例月出納監査(1月・2月・3月分)
決算監査	5月20日	平成30年度 会計決算監査
内部監査	8月20日	例月出納監査(4月・5月・6月分)
内部監査	11月19日	例月出納監査(7月・8月・9月分)
内部監査	2月20日	例月出納監査(10月・11月・12月分)

### (5) 各種会議等の開催

- ・理事報告会(4回) ・管理職会議(14回) ・課長会議(毎週)

## 2. 職員の資質向上への取り組み

新人職員研修、専門研修(介護・地域)、職場内研修等を通じて、職員の自己啓発を図りながら、業務に対する「意欲の向上」、「能力開発」に努めた。

- 働き方改革についての研修
- 認知症予防研修

## 3. 法令遵守の取り組み

各種関係法令改定に伴い、関連する事業部の運営体制の整備を行い、職員に内容の周知を図り、公共的使命と社会的責任の重さに鑑み、法令等を遵守する取り組み(事業所ごとに法令遵守研修)を行った。

## 4. 社会福祉関係従事者等の顕彰(地域福祉課にて掲載)

## 5. 事業計画、予算の立案、執行管理

事業計画・予算の立案、執行管理及び事業量を把握し、費用対効果を意識した予算ヒアリングに努めた。

## 6. 職場の環境整備及び雇用、人事・労務管理

- 1) 事業の円滑かつ効率的な運営のため、適切な雇用管理を進めた。
- 2) 職員の健康管理のため、職場環境の改善や定期健診、ストレスチェックや健康相談の取組を行った。
- 3) 安全衛生委員会のもと、職員の安全・衛生管理に努めた。(本部・豊寿苑)
- 4) 介護事業所の職員不足、退職者の補充のために職員採用を行った。

## 7. 中期的な財政基盤の確立に向けた取り組み

管理職を中心とした『作業チーム』により、懸案事項の協議を進めてきた。

①介護保険事業の取組方針、②受託事業の検討、③法人の基盤整備

○具体的改革の項目

- 1) 総人件費の抑制
- 2) 法人運営費及び介護保険事業費における経費削減
- 3) 地域福祉活動計画を実施するための効率的な人員配置
- 4) 自主財源確保の取組
- 5) 職員の資質向上のための取組
- 6) 介護保険事業収入維持のための取組
- 7) 介護保険事業の統廃合や事業の効率化による経費の削減

## 8. 社協会費の状況

《戸別会員の状況》

R2.3.31 現在

区分	金額 (円)			口数 (件)			納入率 (%)		
	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
佐伯	4,076,810	3,903,500	3,989,969	8,154	7,807	7,985	40.32	38.53	39.45
上浦	341,500	349,000	345,700	683	698	691	73.52	73.78	81.10
弥生	846,000	837,082	855,600	1,692	1,674	1,711	66.75	66.13	68.60
本匠	241,000	242,500	240,000	482	485	480	75.20	79.90	80.00
宇目	504,000	497,500	487,500	1,008	995	972	81.36	77.83	78.14
直川	329,500	334,000	339,000	659	668	683	86.48	88.59	90.95
鶴見	518,500	515,000	462,500	1,037	1,030	939	69.74	70.88	67.22
米水津	334,950	336,000	318,100	670	672	650	81.61	84.63	81.86
蒲江	932,900	855,090	805,310	1,866	1,710	1,503	60.45	53.52	47.79
合計	8,125,160	7,869,672	7,843,679	16,251	15,739	15,614	51.13	49.43	49.54

区分	金額 (円)			口数 (件)		
	29年度	30年度	元年度	29年度	30年度	元年度
賛助会員	181,500	104,000	129,800	363	208	259
団体会員	127,000	201,000	99,000	282	356	198

## <地域福祉課>

地域福祉活動計画に関連する具体的な取り組み

### ☆重点事業

- (1) 地域の課題に対して、不足するサービスを構築し、住民自らがお互いに支えあえる地域づくりを地域と協働して行う。
- (2) 相談体制の充実を図り、経済的、社会的、心理的に悩みを抱える生活困窮者に寄り添いながら自立に繋がる支援を多機関協働により行う。
- (3) 大規模災害に備え、住民、行政、社協が一体となり、広域的な支援活動と協力関係の拡充を行う。

## [I] やさしい心と人づくり

### 1 地域の交流・ふれあいの推進

#### (1) ふれあい・いきいきサロン事業の推進（市受託事業）

高齢者の介護予防の推進を図るとともに、引きこもりを予防し社会参加が保てるよう、レクリエーションや健康体操を取り入れて実施した。

#### ○ふれあい・いきいきサロン関係者の研修会

スタッフの健康知識やレクリエーション、プログラムの充実を図ることを目的に研修会を実施した。

#### ①サロン協力者研修（年2回）

- ・介護予防講座・・・「心が動けば体が動く～健康な体づくりに必要なこと～」
- ・音楽お助け隊実技・・・サロンで楽しめる音楽
- ・レクリエーション講座・・・サロンで楽しめるレクリエーション
- ・次年度サロンの取り組みについて

#### ②支援員・お助け隊研修（年2回）

大分県南部保健所の住民参画型『介護予防推進事業』を活用。

地域における介護予防活動が充実することを目的に、県が作成した「地域の介護予防活動支援マニュアル」を活用した研修会を行った。

#### ③ノルディック運動お助け隊研修会（コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

#### ○体力測定実施

支援型サロン：61サロン 自主型サロン：7サロン

今年度は自主型サロンへの体力測定実施を積極的に行った。

#### ○その他

薬剤師がいない地域でお薬についての相談会を実施した。（南部保健所共催）

実施サロン：本匠1ヶ所、宇目2ヶ所、直川1ヶ所、蒲江1ヶ所 計5ヶ所

### <ふれあい・いきいきサロン登録件数>

佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
57	2	33	6	17	13	11	8	18	165

- ・新規サロン1ヶ所(本匠) ・休止(11ヶ所)、茶の間に移行(4ヶ所)

(2) 子育てサロンの運営支援

子育て中の保護者の情報交換や集いの場として、情報共有や活動支援を行った。

○子育てサロン交流会・・・11月22日

講師 日本音楽脳育協会 柴田 貴子氏

講話「音育児で遊ぼう」～人格形成の大切なこの時期に3つの力を育む～

○サロンの代表者や支援者で情報交換、子育てサロン情報誌の更新を行った。

<子育てサロン登録数>

佐伯	米水津	蒲江	合計
8	1	1	10

(3) 子ども食堂立ち上げ・運営支援

地域の方から寄付された食材を子ども食堂に配分した。子育て世代だけでなく、幅広い世代の『居場所』、『交流の場』として活用できるよう支援した。

○直川みんな食堂つぼみ・・・毎月第1土曜日・赤木地区(かぶとむしの湯 四季内)

(4) 児童館・放課後児童クラブの運営(指定管理事業)

- ・児童館の管理運営・・・(佐伯、上浦、蒲江)
- ・子育て支援事業の実施・・・(上浦、蒲江)
- ・放課後児童クラブの運営・・・(上浦、蒲江)

児童館・子育て支援・放課後児童クラブの利用状況			
	佐伯児童館	上浦児童館	蒲江児童館
児童館 延べ人数	13,068人	5,319人	4,579人
子育て支援 延べ人数		569人	1,206人
放課後児童クラブ延べ人数		1,712人	5,631人
合計	13,068人	7,600人	11,416人

(5) 地域行事への支援

○地域で行われる行事等への事業費の助成や必要な物品の貸し出しを行う。

①地区社協活動への助成(4,003,000円)や人的物的支援

地区社協名	主な活動内容
佐伯	配食サービス、グラウンドゴルフ大会、佐伯児童館行事支援、さいき元気っ子クラブ支援
佐伯東	配食サービス、ほのぼの作品展、ほのぼのお月見会、視察研修、広報誌「きずな」発行
渡町台	配食サービス、ひまわり文庫まつり、とまちっこ子どもまつり、会報「ときめき」発行、ふれあい公民館まつり
鶴岡	福祉教室、サロン交流会、視察研修、ほのぼのネット事業、トトロの広場事業、一人暮らしクッキー配布
上堅田	健康づくり歩こう会、こども祭り、給食サービス、福祉研修会
大入島	救急救命講習会、視察研修(久住)、災害ボランティア研修会(荒網代地区)、給食サービス、愛のおたより
八幡	給食サービス、社協・健康まつり

西上浦	ふれあい夏祭り、西上浦健康まつり、ひな弁当配布、彦嶽登山大会（共催）、視察研修（日田市）
下堅田	配食サービス、視察研修、鮎かけの集い（台風のため中止）、ふれあい料理教室、ふるさとふれあい広場、愛の正月もち配布
青山	配食(弁当・餅)サービス、どろんこバレー、青山生活支援ボランティア会議、青山ミニミニ農業祭、助け愛たい青山開所式
木立	配食サービス、子育てサロンクリスマス会、盆踊り大会、元越山登山会、ハロウィン、敬老会、ふれあい公民館まつり
灘	ふれあいグラウンドゴルフ大会、ミニバレーボール大会、給食サービス、健康づくり体操、子ども会活動、「姫楽の会」の活動、ふれあい食の事業
上浦	ふれあい交流グラウンドゴルフ・ペタンク大会、非常用傘・車椅子設置事業、地区社協視察研修、生活支援ボランティア講座
弥生	視察研修、こども園との合同芋掘り会、独居高齢者・高齢者世帯クリスマスプレゼント配布事業、弁当配布事業、歳末たすけあいお餅配布事業、グラウンドゴルフ大会、地区社協広報誌発行、県内一周駅伝選手応援・支援
本匠	歳末もちつき事業、ふれあい配食サービス事業、認知症サポーター養成講座、健康教室、学校環境整備事業・みずぐるまの活動支援
宇目	ふれあいの集い（独居高齢者の集い）、あんしん見守り隊啓発活動、地区社協だより発行、グラウンドゴルフ大会（夕暮れ・老人クラブ）にお茶提供、宇目つくし隊支えあい活動（生活支援体制整備事業）、チャイルドシート・車椅子の貸出
直川	男性料理教室、三世代交流スポーツ大会、高齢者クリスマス配食への配達支援、お元気ですか絵手紙配付事業（暑中・年賀）、地区社協だより、小学生とのお茶摘み交流体験、避難所訓練への参加
鶴見	地区スポーツ大会助成事業、歳末福祉もちつき大会、認知症サポーター養成講座、住民たすけあいサービスの実施
米水津	ふれあいスポーツ大会、高齢者生活福祉センター訪問（利用者との交流）、地域ふれあい子ども夏まつり、ふれあい配食サービス、視察研修、生活支援サービス（たすけ愛隊）の実施、たすけ愛隊通信発行
蒲江	福祉関係者研修会、地区社協会長杯ふれあい交流スポーツ大会、蒲江安全安心マンボウ隊（見守り活動）、お元気ですか弁当事業

②高齢者と本匠たすけ愛隊「みずぐるま」交流会（本匠支部）

- ・日 時：9月26日（木）10：00～13：00
- ・内 容：介護予防体操、中国変面ショー等
- ・参加者：70歳以上ひとり暮らし高齢者 36名  
本匠たすけ愛隊「みずぐるま」支援員 14名

③イベント用品や防災訓練備品等の貸し出し

地区社協のイベントや防災訓練等で活用した。

物品	綿菓子機	かき氷機	ポップコーン機	防災訓練備品	計
貸出件数	19件	31件	10件	10件	70件

④レクリエーション用品の貸し出し

サロン、子育てサロン、地区社協のイベント等で活用した。

支部	本部	弥生	鶴見	蒲江	計
貸出件数	84件	14件	3件	19件	120件

2 福祉意識の醸成

(1) 社協ちびっこフェスティバルの開催

子どもたちに遊びを通して福祉を学び、体験を通じて福祉意識の醸成を図った。

○関係者も含め、約500名の来場者があった。福祉体験、昔遊びコーナー、市防災危機管理課による担架づくり、警察署・消防署・自衛隊からは、特殊車両を展示してもらい、多くの子ども達が貴重な体験をすることができた。

(2) 福祉体験プログラムの実施

学校や事業所等での福祉体験教室の開催 参加者 499名

	佐伯	上浦	弥生	宇目	鶴見	米水津	蒲江
車いす体験	彦陽中	東雲中 東雲小				米水津中	蒲江翔南中
アイマスク体験	彦陽中 青山小					米水津中	蒲江翔南中
高齢者疑似体験	鶴谷中 彦陽中	東雲小			鶴見中	米水津中	蒲江翔南中
手話体験			弥生児童館			米水津小	
福祉介護用具の展示	鶴谷中						
地域資源の講話				宇目緑豊中	鶴見中	米水津中	
盲導犬体験	鶴岡小 木立小						
要約筆記体験		東雲中					
フラワーアレンジメント ※高齢者福祉施設へ寄付				宇目緑豊中			

(3) 福祉スクールの開催（弥生支部）

弥生のジュニアスクールと連携し、地区内の小学生を対象として福祉体験（アイマスク・点字体験）を行った。参加者 25名

(4) その他

社協事業のPRと地域課題について住民との意見交換を実施した。

○地域での懇談会・座談会の開催

①寄り合い座談会の開催（米水津）間越 10名 大内浦 3/12 中止

②小地域での懇談会の開催（蒲江）

蒲江 32名（3ヶ所）／丸市尾 10名・小蒲江 15名・越田尾 7名



○支部だよりによる広報

「よのうづの輪」を年間6回発行 延べ610部

○第14回 大分県地域福祉推進大会への参加

- ・日 時：10月25日（金）
- ・場 所：別府ビーコンプラザ
- ・参加者：120名
- ・表 彰

区分	県知事 表彰	県知事賞	県知事 感謝状	県社協 会長感謝状	県共募 会長感謝状	県老連 会長表彰
団体		1団体		1団体	1団体	1団体
個人	6名	3名	30名			3名

3 ボランティア・NPO等の育成

(1) ボランティアの活動啓発・支援

ボランティアセンターを常設し、コーディネーターを配置した。

①ボランティア保険の加入状況

社協で把握している団体数	68団体 2,647名 (ボランティア連絡協議会加入 25団体)	
ボランティア保険	2,912名	活動者の傷害、賠償補償保険
ボランティア行事用保険	80件	行事ごとに加入する保険 (配食サービス 25件)
福祉サービス総合補償	6件	直川地域協力隊、鶴鶴クラブ、米水津 たすけ愛隊、大入島たすけ愛隊、宇目 つくし隊、本匠みずぐるま

②相談・登録・斡旋事業

ボランティアに関する相談、活動機会の確保を行った。

- ・相談受付、情報提供 23件
- ・ボランティアの募集 9件
- ・ボランティア活動のマッチング 9件

③収集ボランティア、手芸ボランティア活動の推進

- ・発展途上国への医療支援等のために使用済み切手等を収集し発送した。

品目	書き損じはがき	使用済み切手
数量	20枚	3Kg

- ・毎月2回手芸ボランティアは、佐伯市社会福祉センターで活動を行った。

④佐伯市ボランティア連絡協議会への事務支援

事務局を担当し、総会や理事会、研修会等運営に関する支援を行った。

- ・県ボラ連総会、市ボラ連総会・理事会（年3回）、災害ボラネット会議

県ボランティアNPO推進大会、県南ブロック研修会、防災研修会  
市町村ボラ連合同研修会への参加

⑤ボランティアに関する広報を行い、ボランティア意識の啓発を実施した。

- ・ボランティア広報紙「ぼらの樹」の発行 149部
- ・ボランティア関連情報をホームページに掲載

(2) 生活支援ボランティア講座の開催（地域づくり大作戦）

高齢者の「ちょっとした困りごと」を支えるボランティアの養成を行った。

- 「話し相手がいない」「話を聴いてほしい」という地域の声を受け、傾聴ボランティア養成講座を実施した。

(3) ボランティア手帳の発行

中学生、高校生ボランティア活動啓発事業の推進

- 学生にボランティア手帳を配布した。（中学生 206名 高校生 133名 計 339名）

(4) NPO・企業ボランティア団体との協働の推進

ボランティア等に関する研修会を開催し啓発を行った。

- ①大分県ボランティア・NPO活動推進大会への参加（参加者 6名）
- ②福祉関係者の研修会（蒲江支部）

福祉関係者の連携強化を目的として研修会を実施した。（参加者 90名）

(5) 夏のボランティア体験事業

市内 56ヶ所の福祉施設・福祉団体等で中学生、高校生を中心に延べ 345名がボランティア体験を行った。

(6) 各種ボランティア講座の開催

傾聴ボランティア養成講座（全2回 参加者 19名）

(7) ボランティア団体の支援

依頼のあったボランティアに対して活動の場を提供した(9件 88名)

#### 4 関係団体の活動促進

(1) 民生委員児童委員協議会の活動促進

○住民に一番近い立場で活動する民生委員児童委員の活動支援を行った。

- ①民生委員児童委員協議会の事務支援
- ②民生委員児童委員・主任児童委員の活動支援

緊急キットの更新作業、視察研修、PR活動、おめでとう訪問事業

(2) ボランティア連絡協議会の支援

○総会、理事会、防災研修会、県南三市合同研修会ほか

(3) 地区社協の活動支援

○地区社協会長・事務局長会議の開催

(4) 老人クラブ連合会の支援（市受託事業）

①佐伯市老人クラブ連合会 55クラブ 2,069名加入

- ・理事会 4回 ・評議員会 1回
- ・市老連スポーツ大会 211名参加
- ・佐伯市老人クラブ大会 11月26日 佐伯文化会館 300名参加

市老連 会長表彰	市老連 会長感謝状	米寿	白寿
10名	1名	82名	3名

②老人クラブ連合会 佐伯支部 24クラブ 557名加入

- ・理事会 4回 ・会長会 4回
- ・スポーツ大会 223名参加

[Ⅱ] 支えあう地域づくり

1 地域のネットワークづくりと支えあい活動の促進

(1) 地域福祉ネットワーク事業の推進

①緊急情報キット連絡会による情報共有と連携の強化

- ・警察署、消防署、市民児協、行政機関と活用事例の情報共有を行い、キットの重要性を確認した。 7,926件

②生活困窮者支援連絡会議

③福祉推進員による見守り活動の推進（蒲江支部）

(2) 地域づくり大作戦（市受託事業：生活支援体制整備事業）

①生活支援コーディネーターの配置

- ・第1層（全市対象）1名
- ・第2層（旧市内、旧町村）17名

②第1層協議体（高齢者にやさしい地域づくり協議会）

- ・7月30日 令和元年度生活支援体制整備事業の取組について
- ・11月7日 生活支援体制整備事業の取組について、地域課題について
- ・3月23日 コロナ対策のため中止

③地域ケア会議への参加

- ・年間18回（事前会議18回）参加し、地域課題の把握に努めた。

④ケアマネジメント支援会議への参加 24回

- ・地域課題の把握に努め、多職種との連携を図った。
- ・生活支援サービスの実施

（大入島・青山・木立・本匠・宇目・鶴見・米水津・蒲江）

- ・日常生活における「ちょっとした困りごと」に対して、生活支援サービスを実施する団体の活動を支援した。

大入島：延べ14件 木立：延べ4件 本匠：延べ14件 宇目：延べ12件

鶴見：延べ46件 米水津：延べ95件 蒲江：延べ10件

⑤地域拠点の支援：佐伯地区「チェアー」

地域の居場所として「チェアー健康体操」の運営を支援した。

3か所 毎月2回 登録者46名（新女島11名・女島24名・床木11名）

⑥地域拠点の支援：鶴見地区「さざなみ」

鶴鶴クラブが中心となり、誰もが寄れる地域の拠点として「さざなみ」の運営を支援した。参加者381名

⑦地域資源マップ・社会資源リストの更新

子育てサロン（10か所）、ふれあい・いきいきサロン（82か所）の基本情報をマップに追加入力した。

(3) フードバンクおおいたの協力

○家庭で消費されない食料品を生活困窮者への支援に活用した。延べ人数152名

○フードドライブを3回実施し、お米、缶詰、海苔、調味料等の寄付があった。

(4) 共同募金委員会の運営

○佐伯市共同募金委員会事務局を担い、共同募金活動を行った。

①赤い羽根共同募金の実績

項 目	件 数	金 額
戸別募金	13,053	6,650,322
街頭募金	2	29,282
学校募金	2	41,390
職域募金(バッチ募金等)	163	67,968
個人募金	3	2,000
その他(預金利息等)	3	34,944
募金合計	13,226	6,825,906

※募金総額の概ね60%が、令和2年度地域福祉事業の財源となる。

②歳末たすけあい募金の実績

項 目	件 数	金 額
戸別募金	19,225	3,801,634
街頭募金	1	17,312
法人募金(企業等)	9	78,000
学校募金	4	338,705
職域募金	6	23,486
イベント募金	1	86,000
個人募金	4	3,279
その他(預金利息等)	4	77,171
募金合計	19,254	4,425,587

○歳末助成について、運営委員会で方針を協議し、審査ならびに助成交付を行った。

	件数	金額
福祉団体助成	96	4,108,558
歳末募金配分経費		297,000
助成合計		4,405,558

## 2 活動拠点の確保

### (1) 佐伯市社会福祉センター・地域福祉センターの運営（指定管理事業）

○ボランティア、健康づくり、生きがいくくり等、地域福祉推進の拠点として役割を担った。

施設名	延べ利用回数	延べ利用者数
佐伯市社会福祉センター	1,294	13,889
上浦地域福祉センター	9	122
直川地域福祉センター	76	1,339

### (2) 地域の寄り合い所の確保・運営支援（地域づくり大作戦）

○高齢者（地域住民）の居場所・地域拠点の支援（鶴見支部）

鶴鶴クラブが中心となり「さざなみ」の運営を支援。新たに通いの場を立ち上げ、支援を行った。通いの場・・・22回開催 参加者 204名

### (3) ボランティアの拠点の確保

○団体の活動を促進するため、誰もが使いやすい拠点確保の支援、検討を行った。

## [Ⅲ] サービスを利用しやすい仕組みづくり

### 1 情報提供の充実

#### (1) 広報等による情報提供

○社協の福祉活動や地域の福祉活動をタイムリーに広報した。

①社協だよりの発行（全戸配布・年間6回発行 発行部数 32,400部/回）

・社協だよりを全戸配布し、事業の報告やお知らせなど社協活動の啓発を行った。

②ホームページ・フェイスブックによる情報発信

・地域住民に社協の活動をより詳しく知ってもらい、新しい福祉情報を提供するため、ホームページの更新・管理運営を行った。アクセス回数 16,308回

③ケーブルテレビによる事業発信（随時）

④「ひとしずくちゃん」による広報

・社協事業やイベント、児童館などに出向き、地域住民とのふれあいや広報活動を行った。出演回数 5か所

・ひとしずくちゃん自動販売機の設置 6台設置

⑤米水津支部だより「よのうづの輪」の発行 年間6回 延べ610部

⑥その他

・佐伯鶴城高校において、社協活動を紹介した。

## 2 相談支援体制の充実

(1) 弁護士による無料法律相談会 年間 15 回 125 件

(2) 民生委員による心配ごと相談会

支部	佐伯	蒲江	合計
開催回数	5	6	11
相談件数	3	10	13

(3) 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

### ①生活困窮者自立支援事業

ア. 生活に困窮している方に、自立した生活ができるまで継続的な相談支援を行う。

相談件数と就労者数等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談	9	15	9	7	13	16	9	20	8	17	11	20	154
継続相談	58	58	51	87	71	58	72	95	71	78	67	79	845
プラン数	2	3	3	4	6	3	2	5	5	4	2	3	42
就労者数	0	1	0	3	1	1	0	1	2	2	0	0	11

イ. 支援調整会議・支援連絡会議の開催

支援調整会議を開催しプランについて協議し、関係機関との連携に努めた。

支援調整会議：12 回 支援連絡会議：1 回

ウ. 就労支援、無料職業紹介所の開設

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
履歴書添削	0	2	0	2	1	2	1	0	0	0	1	4	13
ハローワーク 同行支援	0	0	1	1	2	1	0	1	0	2	1	1	10

エ. 無料職業紹介所の実績

実績なし

オ. 愛のひとしづく事業による食料品等の支援

歳末たすけあい募金の助成を受け、相談過程における生活困窮者に商品券を支給した。  
利用対象者：29 名 総額：87,000 円

カ. フードバンクを活用した食料支援

相談過程において、食べる物に困っている世帯に当面の食料品を支給した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用延べ人数	10	16	7	11	9	20	11	13	9	16	14	16	152
提供した主な食品	米、缶詰、レトルト食品、カップ麺、即席麺等の食料品												

キ. 衣類バンク事業による支援

相談者の清潔保持や就職支援（面接）等で必要とされる衣類を支給した。

延べ人数：6名

ク. ほっとc a f eの開催

相談過程におけるひきこもりや就労に支援が必要な方々を対象にカフェを開催し、生活リズムの改善、コミュニケーション能力の育成、集いの場の提供、ひきこもりからの脱却などを目的として実施した。

開催：12回 延べ人数：59名

ケ. きずなファームの実施

民間所有者の畑の一部を無償で借り、就労体験や居場所づくりを目的として農作業体験を実施した。そこで収穫した野菜を使って7月に「キッチンきずな（調理実習）」でカレーづくりを行った。

※ じゃがいも、人参、タマネギ、さつまいも、大根、ニンニク等の栽培

コ. ひきこもり脱出作戦会議の開催

市内の精神科医及び障がい者相談支援センターと連携し、ひきこもり者へのアプローチ方法を検討した。

開催：2回

サ. きずなレターの送付

ひきこもり者や就労準備段階の人たちを対象に、「ほっとカフェ」や「きずなファーム」の案内や年賀状等、手書きのお便りを郵送し、アプローチを行った。

延べ送付者数：35名

シ. 就労訓練先の相談

佐伯圏域障がい者共同サポートセンター「人とき」との連携相談過程において、就労準備が必要な対象者が就労訓練をできるよう連携し調整に努めた。

ス. ワークチャレンジ事業の実施

就労した経験のない方や職業生活にブランクのある方などを対象に就労意欲の向上や自立をはかるために、「人とき」と連携して就労体験の場を提供した。

活動日数：5日 延べ人数：4名

セ. おおいたくらしサポート事業の連携

市内の「おおいたくらしサポート事業」を実施する施設と協働して「おおいたくらしサポート事業佐伯地区連絡会議」の開催や相談者へのライフライン復旧支援や子どもの入学品や食料品等の購入等生活支援を行った。

利用人数：8名 金額：570,899円

ソ. 広報活動

- ・パンフレット（A4）の作成 2,000部
- ・PRカードの作成 2,000部
- ・ハンディーウェットティッシュの作成 500枚
- ・「社協だより」に毎号掲載（年6回） 発行部数 32,400部／回
- ・ホームページへの活動状況の掲載

(4) 社協職員による総合相談事業

○社協職員による保健福祉全般にかかわるワンストップの相談体制

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合 計
件 数	48	52	88	49	102	110	20	26	70	565

○相談内容別件数

相 談 内 容	件数	相 談 内 容	件数
生計問題	18	相続・財産問題	5
年金問題	0	事故問題	0
金銭問題(貸借・多重債務など)	3	人権相談	0
離職による相談	0	児童福祉関係	4
住宅問題	5	教育・青少年関係	0
家族問題	1	障がい者・児関係	5
結婚問題	0	老人福祉関係	467
離婚問題	0	父子・母子関係	0
不貞行為・慰謝料	0	苦情相談	3
健康・医療・介護問題	22	その他	25
近隣トラブル・境界線	7	合 計	565

(5) 地域包括支援センターブランチ事業 (市受託事業)

支部に配置された地域福祉担当者が、高齢者宅を訪問し個別の相談に応じ又は生活動作や体調の変化を包括支援センターに報告した。

相 談 内 容	件数	相 談 内 容	件数
食の自立支援事業	0	日常生活支援相談	63
福祉サービス相談(保険外)	67	認知症に関する相談	47
介護保険関係(申請相談等)	94	見守り・安否確認	3, 356
虐待に関する相談	0	その他	196
		合 計	3, 823

(6) 資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業の実施

資 金 種 類	新規貸付件数	金 額
福祉資金・福祉費	4	342, 000
緊急小口資金	25	2, 565, 000
合 計	29	2, 907, 000

※償還指導：2月14日実施

②小口資金貸付事業の実施

資 金 種 類	新規貸付件数	金 額
生活資金	2	70, 000
つなぎ資金	2	40, 000
合 計	4	110, 000



### 3 福祉サービスや健康づくり事業の充実

#### (1) 高齢者福祉サービスの充実

##### ○お洗濯支援事業（宇目支部）

・コインランドリーの管理運営と洗濯代行サービスの実施

洗濯機	1,040 回
乾燥機	4,769 回
洗濯代行サービス	2 回

#### (2) 独居世帯への相談・見守り・終活などの支援

○困った時の相談や入退院時のお世話等、今と将来の不安を解消する仕組みづくりを検討した。（今後は、成年後見制度と合わせて検討）

#### (3) 毎日型配食サービス（上浦支部） 11,285 食

#### (4) 障がい者福祉サービスの充実

##### ①福祉機器の貸出

	佐伯	上浦	弥生	宇目	米水津	蒲江	合計
車イス	17		1	1		5	24
福祉体験用品	3	1	1		1		6

##### ②移送サービス事業（宇目支部） 実績なし

#### (5) 子育て支援サービスの充実

##### ①チャイルドシート貸出事業（宇目支部） 貸出 4 件

##### ②子育て支援事業（上浦支部） 569 名

#### (6) 健康づくり事業の充実

##### ○高齢者の介護予防としての健康づくり事業

##### ①さいき「通りゃんせ」 6月より月2回実施（佐伯支部）

ノルディックウォークを通じて仲間づくりや体力づくりを行い、健康寿命を延ばし、地域で元気に暮らす事を目的とし実施した。 参加者 延べ251名

##### ②さいき「通りゃんせぷらす」 6月より月1回実施（佐伯支部）

さいき「通りゃんせ」のフォローアップ事業として、健康意識・体力づくりの継続を目的として実施した。 参加者 延べ92名

##### ③上浦元気アップ 月8回実施（上浦支部）

健康運動実践指導者によるストレッチ、筋力トレーニング、有酸素トレーニング、ヨガ等を取り入れた介護予防運動プログラムを実施した。 参加者 延べ816名

④宇目このゆびとまれ 1クール4ヶ月/年2回 (宇目支部)

体操、ノルディックウォーク、レクリエーション、おやつ作り等を通して、健康と介護予防に関する身体機能の向上を図った。 参加者 延べ169名

⑤直川シニア世代元気事業 2ヶ所 84回 (直川支部)

健康寿命を延ばす事を目的として、ストレッチ体操等の介護予防への取り組みを行った。さらに同世代と交流する事で、地域への関わりが増え、活動の範囲を広げることへとつながった。 参加者 延べ1,073名

4 権利擁護体制の充実

サービス利用に関わる権利擁護体制の整備

(1) 日常生活自立支援事業 (県社協受託)

判断能力が低下した方への福祉サービスの利用援助や金銭管理、書類の預かり

佐伯	上浦	弥生	宇目	直川	鶴見	蒲江	合計
72	2	6	2	1	2	5	90

・新規 29件  
・解約 21件

(2) 成年後見制度の利用促進

臼杵市社協を招き、職員を対象とした研修を実施した。 参加者 15名

[IV] 安全安心なまちづくり

1 地域ぐるみの防犯・防災対策の推進

(1) 災害ボランティアセンターの設置・運営 今年度 設置・運営なし

(2) 地域防災講座への協力 (講師派遣) と防災事業の実施

地区社協や区長会、企業等が実施する防災研修会等への支援を行った。

	佐伯	宇目	直川	蒲江
避難所運営訓練	鶴岡地区		赤木地区 仁田原地区	
防災訓練・研修	大入島地区 やつか眼科	宇目地域	直川ことぶき大学	丸市尾地区

(3) 防災教育プログラム事業の実施

児童・生徒を対象に防災教育プログラムを実施した

学校名	期日	参加数	派遣職員数
直川小・中学校	5/29	79	4
佐伯児童館	7/22	15	3
城南中学校2年生	10/2	102	10
鶴岡小学校5年生	11/28	90	5
鶴岡小学校4年生	2/14	40	1
合計		326	23

(4) 災害ボランティアネットワーク協議会の運営

○佐伯市災害ボランティアネットワーク協議会 (31 団体)

平常時から「顔の見える関係づくり」を目的として会議を開催。鶴岡地区避難所運営訓練に参加し、各団体の情報共有を行った。

(5) 災害支援に対応できる職員の育成

①災害ボランティア運営リーダー研修への参加

②防災士の育成 新たに5名が受講した。 防災士 計15名

③被災家屋ボランティア活動

台風8号により被災した直川正定寺のボランティア活動を実施 職員7名

蒲江豪雨災害により畑野浦、尾浦のボランティア活動を実施 職員16名

④被災地への現地派遣

令和元年8月九州北部豪雨 (佐賀県大町町)

災害ボランティアセンターの運営支援として職員を派遣。現地のセンター支援を行いながら、運営スキルの向上に努めた。 職員2名 日数 5日

(6) 防災標語づくり (弥生支部)

『みんなで考える防災標語』として、地域住民に標語を募り、事業所等に掲示した。災害時での被災軽減や地域の防災力が強まるよう意識づけができた。

(7) 緊急情報キット事業

緊急時に備えて、かかりつけ医や薬等の情報を筒に入れ冷蔵庫に保管するキットの配付を行った。更新 9,603件 緊急時対応 57件

(8) 高齢者や子どもの見守り活動の見守りの推進

①宇目あんしん見守り隊活動の支援 (宇目支部)

郵便局、駐在所、商工業者や自治委員等に子どもたちや高齢者を自然な形で見守りをしてもらうため、協力依頼のハガキを郵送し見守り活動を啓発した 104件

②配食サービスによる見守り (上浦支部) 延べ 11,285食

③地区社協配食サービスによる見守り支援

地区社協名	回数	食数	地区社協名	回数	食数
佐伯	1	125	木立	10	323
佐伯東	4	352	弥生	1	201
上堅田	1	168	本匠	1	86
八幡	1	186	米水津	10	503
下堅田	2	202	蒲江	2	356
青山	3	75	合計	36	2,577

④蒲江マンボウ隊の見守り活動支援 (蒲江支部) 延べ 45回

⑤福祉推進員による見守り (蒲江支部)

ふれあいサロンのボランティアとして、参加者の見守り、活動支援等を行った。

⑥認知症地域づくりモデル事業への協力支援 (本匠支部) 66名 (鶴見支部) 34名

## 2 誰にでもやさしいまちづくりの推進

### (1) 新たな移送サービスの検討

地域課題として高齢者の移動の心配が多い中で、多機関、専門職の連携による新たな移動の仕組みを検討した。

## [V] その他の事業

### (1) 社協の自主財源の確保の取り組み

①本会の行う各事業において、社協旗や財源旗を活用して積極的にPRし、自主財源となる会費への理解を進めた。

②清涼飲料水自動販売機の設置による自主財源の確保

社協イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」の自動販売機を新たに市内6ヶ所に設置し、既存の自動販売機を含め、9ヶ所となった。

### (2) 職員の資質向上の取り組み

①職員のスキルアップを目的として、外部講師の招聘による研修会の企画や県内外の社協関係者との合同研修に職員を派遣して資質向上に努めた。

- ・市町村社会福祉協議会 新任職員研修
- ・市町村地域福祉実践発表会
- ・認知症・認知症予防研修（社協職員全体研修）
- ・成年後見制度事業研修
- ・生活困窮者自立支援全国研修交流会
- ・生活支援体制整備事業推進セミナー

### (3) 社会福祉士実習生の受け入れ(人材育成)

福岡県立大学社会福祉学科2年生1名の体験型実習を受け入れた。

### (4) 地域福祉活動計画の進行管理

佐伯市地域福祉活動計画推進協議会において、平成30年度の佐伯市地域福祉活動計画の実施報告を行った。

## <在宅福祉課>

### 1. 介護保険事業の状況

国は要介護者を対象とした介護保険制度に軸足を置き、介護予防事業は市町村に移管した。佐伯市においても自立支援の考え方に立った「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）を実施し、社協の各事業所では、要介護状態にならないための運動指導や認知症予防の取り組みを進めるとともに、職員の研修を重ね資質の向上に努めた。

また、作業療法士が利用者の個別指導や職員のさらなるスキルアップに力を入れ、利用者の日常生活動作の機能向上を図った。処遇改善加算Ⅰを取得することにより、介護報酬の増額に繋がった。

#### (1) 居宅介護支援事業 (3事業所)

17名の介護支援専門員（ケアマネージャー）を配置した。居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービス提供事業者との連絡調整を行った。総合事業プランについては、包括支援センターより受託し、地域住民の介護予防を支援した。

(単位：千円)

年 度	市受託金	介護保険 収入等	収入合計	支出合計	収 支
平成 29 年度	16	77,526	77,542	75,108	2,434
平成 30 年度	4	81,914	81,918	69,700	12,218
令和 元年度	31	83,634	83,665	68,044	15,621

#### (2) 訪問介護事業 (4事業所)

主に入浴・排泄などの身体介護や調理・洗濯・清掃などの生活支援を行った。また自立支援を目的として総合事業の利用者には「めじろん体操」の指導も行った。要介護の認定後は有料老人ホームへの入所者が増え、在宅での訪問介護の利用者は年々減っている。職員の高齢化や退職者もあり、新規採用が厳しくなっている中、令和2年4月から1事業所に統合し事業を進めるよう検討を行った。

(単位：千円)

年 度	介護報酬 等収入	収入合計	支出合計	収 支
平成 29 年度	71,313	71,313	71,438	△125
平成 30 年度	68,227	68,227	66,568	1,659
令和元年度	70,704	70,704	60,346	10,358

(3) 通所介護事業 (5 事業所)

食事・入浴などの日常生活上の支援や生活機能向上のための運動等を提供した。また、介護予防教室「おげんき広場」については、上浦、直川、米水津ほか、新たに弥生で開始した。作業療法士が中心となり、運動指導や認知症予防プログラムへ積極的に取り組んだ。軽度者は減少し、要介護者の増加により、介護報酬等の増収に繋がった。

(単位 : 千円)

年 度	市受託金	介護報酬 等収入	収入合計	支出合計	収 支
平成 29 年度	750	137,368	138,118	138,374	△256
平成 30 年度	1,376	150,800	152,176	139,797	12,379
令和元年度	2,666	153,190	155,856	133,980	21,876

## 2. 障害者総合支援事業の状況

市受託事業の障がい者福祉サービスや障害者総合支援法による身体障がい（児）者・知的障がい（児）者等への訪問介護サービスを提供した。

(単位 : 千円)

年 度	市受託金 (移動支援・ 訪問入浴)	自立 支援費 収入	収入合計	支出合計	収 支
平成 29 年度	2,284	15,965	18,249	16,695	1,554
平成 30 年度	2,045	19,469	21,514	18,265	3,249
令和元年度	2,539	21,319	23,858	19,061	4,797

※市受託金の訪問入浴は平成 29 年度に終了

## 3. 受託事業の状況

(1) 食の自立支援事業（配食サービス）

調理が困難な高齢者等に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を行った。

年度/ 支部	上浦	弥生	宇目	直川	合 計	
29	配食数	215	0	4	199	418 食
	受託額	64,500	0	1,200	59,700	125,400 円
30	配食数	158				158 食
	受託額	47,400				47,400 円
元	配食数	121				121 食
	受託額	36,300				36,300 円

- (2) 高齢者生活福祉センター居住部門及び生活支援ハウス運営事業  
生活援助員を配置し、安心して健康な生活が送れるよう支援した。

ハウス名	浅海井	蒲戸	弥生A	弥生B	宇目	米水津
定員	11	6	10	10	10	10
平均入居者数	9.9	5.4	9.6	9.8	9.8	5.3

- (3) 地域包括支援センターについて  
地域包括支援センターの受託について、市との協議を行った。別紙のとおり

#### 4. 介護職員処遇改善への取組み

介護職員処遇改善加算Ⅰを継続し、職員の処遇改善に努めた。令和2年度から介護職員等特定処遇改善加算を算定できるよう準備を進めた。

#### 5. 介護職員現場実習生の受け入れ(人材育成)

介護職員初任者養成研修等の現場実習生の受け入れを行った。

- ・訪問介護 高校生7名

#### 6. 佐伯市SOSネットワーク事業への協力

佐伯市と「佐伯市SOSネットワーク事業に関する協定」を締結し、相互に協力する体制を築くことで、対象者が安心して暮らせる地域社会づくりへの協力を行った。

## <施設福祉課>

### 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑

豊寿苑の理念のもと、入苑者の生活の質を向上させることに努め、重度者に対応した職員のスキルアップと介護技術の向上のための研修、新任職員を対象とした研修を強化した。

感染症対策については、昨年度に引き続き、面会者の一時制限、職員の出勤時の検温、流行期以前からの予防の取り組みを行い、インフルエンザによる感染を防ぐことができた。

施設行事には、家族や地域住民、ボランティアにも参加を呼びかけ、『開かれた施設』運営に取り組んだ。

また、豊寿苑での様子を地域へ発信するため、広報誌やホームページ、フェイスブックを活用し、リアルタイムで苑での活動を紹介した。

#### 1. 入苑者の概要（各年度末統計）

##### （1）平均年齢

年 度		男 女 別 平 均 年 齢		平均年齢
		男 性	女 性	
H29	従来型	81歳 4月	88歳 1月	87歳
	ユニット	90歳 2月	88歳 6月	88歳 7月
H30	従来型	84歳 1月	86歳 8月	86歳 1月
	ユニット	88歳 1月	88歳 10月	88歳 9月
R1	従来型	82歳 5月	87歳	86歳 1月
	ユニット	86歳 3月	88歳 11月	88歳 8月

##### （2）要介護度別の割合

要介護度	R1年度 入苑者の割合		R1年度 全 体	H30年度 全 体
	従来型 (79)	ユニット (21)		
要介護1	1.30%	4.55%	2.02%	2.11%
要介護2	2.60%	4.55%	3.03%	3.16%
要介護3	16.88%	45.45%	23.23%	26.31%
要介護4	49.35%	31.81%	45.46%	45.26%
要介護5	29.87%	13.64%	26.26%	23.16%



## 2. 職員の研修状況

### ①外部研修

期 日	研 修 名	場 所	職 種
H31.4.10	2019年度認定調査員新規研修	大分県南部保健所	介護支援専門員
R1.5.23	令和元年度 第1回県福祉ネットワーク協議会	佐伯豊南高校	苑長・係長
R1.5.23	令和元年度認定調査員現任(合同)研修	ホルトホール大分	介護支援専門員
R1.5.27	令和元年度衛生講習会並びに第1回栄養士研修会	大分県総合庁舎	管理栄養士
R1.6.5	令和元年度ノーリフティングケアマネジメント研修会	大分県介護研修センター	係長
R1.6.5	令和元年度社会福祉施設等経営支援セミナー(接遇マナー)	大分県総合福祉会館	介護職員
R1.6.14	令和元年度 全国安全週間・労働説明会	弥生文化会館	係長
R1.6.29	第54回大分ストーマリハビリテーション研究会褥瘡ケアセミナー	大分県介護研修センター	看護職員
R1.7.24	令和元年度社会福祉施設等経営支援セミナー(記録の書き方)	大分県総合福祉会館	介護職員
R1.7.7	令和元年度 第2回理事会	佐伯の太陽	苑長
R1.8.8	リフレ介護セミナー	三余館	苑長・係長
R1.8.27	令和元年度 結核医療従事者研修会	佐伯市医師会館	看護職員
R1.9.3～	喀痰吸引研修	豊寿苑	介護職員
R1.9.4～ 10.25	介護支援専門員更新研修	大分県介護研修センター	介護職員
R1.9.4	ハラスメント防止研修	大分県総合福祉会館	介護職員
R1.9.5	令和元年度 第3回理事会	佐伯の太陽	苑長
R1.9.10	令和元年度衛生講習会並びに第2回栄養士研修会	大分県総合庁舎	管理栄養士
R1.9.13	令和元年度全国労働衛生週間説明会	弥生文化会館	係長
R1.9.18	コミュニケーション力向上研修	大分県総合福祉会館	介護職員
R1.9.24	令和元年度 大分県老協 栄養士・調理師研修会	大分県介護研修センター	管理栄養士
R1.9.27	介護職員特定処遇改善加算に関する研修会	大分県総合福祉会館	苑長
R1.9.27	特定技能「介護」受け入れに向けた説明会	大分県総合福祉会館	苑長
R1.10.2	令和元年度 第4回理事会	佐伯の太陽	苑長
R1.11.7	令和元年度 第5回理事会	佐伯の太陽	苑長
R1.11.14	労働講座～メンタルヘルスの労働問題～	佐伯総合庁舎	苑長
R1.11.26	令和元年度衛生講習会並びに第3回栄養士研修会	佐伯総合庁舎	管理栄養士
R1.11.28	養介護施設等管理者向け権利擁護研修会	別府ビーコンプラザ小会議室	苑長
R1.12.2	講演会「麴に恋して」	佐伯市保健福祉センター「和楽」	管理栄養士
R1.12.4	令和元年度 第6回理事会	佐伯の太陽	苑長
R2.1.23	第2回施設長研修会	大分県総合福祉会館	苑長
R2.1.24	令和元年度看護職マネジメント研修Ⅱ	佐伯市医師会館	看護主任
R2.1.28	令和元年度 中長期計画策定研修会	大分県介護研修センター	係長
R2.2.19	令和元年度 生活相談員研修会	大分県総合福祉会館	生活相談員
R2.2.25	令和元年度衛生講習会並びに第4回栄養士研修会	大分県総合庁舎	管理栄養士

## ②内部研修

期 日	内 容	職 種
R1.5.10	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	医務職員
R1.5.17	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護支援専門員
R1.5.23	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R1.11.14	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	医務職員
R2.1.20	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R2.3.17	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R1.5.20	現任研修(人権・接遇について)	全職員
R1.5.27	現任研修(人権・接遇について)補講	全職員
R1.6.17	認知症・認知症予防研修	介護職員
R1.7.16	現任研修(身体拘束・虐待防止について)	全職員
R1.7.22	現任研修(身体拘束・虐待防止について)補講	全職員
R1.9.17	現任研修(認知症研修)	全職員
R1.11.18	現任研修(感染症について・手洗い方法について)	全職員
R2.1.20	現任研修(インフルエンザ・急変時の対応について)	全職員
R2.1.27	現任研修(インフルエンザ・急変時の対応について)補講	全職員

### 3. 介護職員現場実習生の受け入れ(人材育成)

高校等からの依頼により、介護職員初任者養成研修の現場実習生の受け入れを行った。